

2019 年 12 月 19 日

BMW グループの電気駆動車両の販売台数が 50 万台を突破

次の指標: 2021 年末までに電気駆動モデルの販売台数を倍増

BMW Welt で BMW 330e*が引き渡される

BMW iX3*: 航続距離とバッテリー容量間のバランスを改善

包括的モデル攻勢 – 電気駆動モデルにも適用

ミュンヘン発：

e-モビリティの先駆者として、**BMW グループ**はエレクトロモビリティの新たな指標に到達した。世界中の顧客に販売された電気駆動モデルの台数が、**50 万台**に達したのだ。**BMW グループ**でドイツ市場担当上級副社長を務めるセバスチャン・マッケンセンは、本日、ミュンヘンの **BMW Welt**（ビー・エム・ダブリュー・ヴェルト）で、所有者になるお客様に記念すべき **50 万台目**の **BMW 330e***の鍵を引き渡した。

「**50 万台**の実績が証拠です。幅広く揃えられた当社の電動車両のラインアップならば、顧客のニーズに正確に応えられます。そして現在、その人気はさらに高まっています。私たちは、今後 **2 年以内**に **100 万台**の電気駆動モデルを販売することを目指しています。これは気候保護に寄与する意味でも効果的です。」**BMW AG 取締役会会長のオリバー・ツィプセ**はこのように述べた。

電気駆動モデルによる包括的製品攻勢

2020 年、**BMW X3** が、**BMW グループ**として初めて、ディーゼル・エンジン、ガソリン・エンジン、プラグイン・ハイブリッド、ピュア **EV** という **4 種類**のドライブトレインから選べるようになります。ピュア **EV** である **BMW iX3***の最大の市場は中国ですが、世界中のマーケットで販売されます。

BMW iX3*は、極めて効率が良く革新的な **BMW** の第 5 世代の電気駆動システムを初めて搭載するモデルであり、航続距離とバッテリー容量間の新たなバランスを提供する。ここで重要なのは、ドライブトレインを大幅に効率化することである。

BMW のテクノロジー・フラッグシップである **BMW iNEXT**（アイ・ネクスト）は、電気自動車に高度自動運転を組み合わせたモデルであり、**2021 年**に導入される。完全に電動化されたピュア **EV** の **BMW iNEXT** は、内燃式エンジン搭載車やプラグイン・ハイブリッド車と共に、ディンゴルフィン工場の組立てラインで生産される。

これに続いて **2021 年**には **BMW i4**（アイ・フォー）が発売となる。**BMW i4** は、感情に強く訴えるプレミアム・ミドルサイズ・セグメントのピュア **EV** グランクーペである。**BMW i4** はミュンヘンの主要工場で生産される。

2013 年の発売以来、**BMW i3** はビジョナリー・テクノロジー・フラッグシップ（先見性ある技術的旗艦）としての役割を演じ続け、またそのセールスが成功し続けていることもあり、電気駆動モデルの象徴とも言える地位を獲得した。**BMW** グループは i3 のさらなる開発を続け、現時点では 2024 年まで生産を拡張する予定である。今年後半、**BMW** グループの電気駆動モデルのラインアップに、純粋な電気自動車である **MINI エレクトリック***が加わった。登録済みの見込み客はすでに 9 万人以上に達しており、初のピュア EV-MINI に対する顧客の関心の高さを示している。

電気駆動モデル販売の野心的目標

BMW グループでは現在 12 種類の電気駆動車両をラインアップしており、エレクトロモビリティ分野における世界有数のプロバイダーの一社となっている。同社は 2016 年以来、ドイツ国内における電気駆動車両のマーケット・リーダーとなっており、ヨーロッパのみならずグローバルな市場においても主導的地位を占めている。同社は、今後数年間にわたる電気駆動車両の販売に関して明確な目標を策定した。それは、2021 年までに **BMW** グループがヨーロッパで販売する車両の 4 台に 1 台を電気駆動モデルにする、というものである。さらに 2025 年には 3 台に 1 台が、また 2030 年には約半数が電動化される予定である。

「**BMW** グループでは **MINI** から **BMW 7** シリーズに至るまで、モデル・ラインアップのほとんどの電動ドライブトレインを持つモデル・バリエーションを提供しています。お客様は好みのモデルだけでなく、好みのドライブトレインを選択することもできます。」**BMW AG** でカスタマー、ブランド&セールス担当取締役を務めるピーター・ノータはこう説明し、さらに「これはお客様が求めている多様性であり、ひとりひとりのモビリティ・ニーズに最適な方法です。」と続けた。

選択可能な動力源

BMW グループのモデル・ラインアップのドライブトレインには、最新のプラグイン・ハイブリッドやピュア EV の他に、極めて効率の良い内燃式エンジンが用意されている。この「選択可能な動力源」により、同社は世界のさまざまな地域で、顧客からのさまざまなニーズや要望に応えることができる。現行モデルでも将来のモデルでも、選択したドライブトレインに応じたブランド固有のドライビング・プレジャーを提供する。**BMW** グループの製品は、顧客が選んだドライブトレインの種類に関係なく、いずれも優れた高効率性と CO₂ 排出量の削減が常に期待できる。

BMW Welt での独占的車両引き渡し

ミュンヘンに住む顧客が新車を受け取るために来社したとき、サプライズが待ち受けていた。ドイツ市場担当上級副社長のセバスチャン・マッケンセンから新型 **BMW 330e***の鍵を受け取ったのであるが、この車両は **BMW** グループで製造された実に 50 万台目の電気駆動車だった。「私にとって、プラグイン・ハイブリッドの 3 シリーズの **BMW 330e** はとても魅力的です。都市部を中心とした通常のドライブにおいては排気

ガスを出さずにドライブでき、そして、ロングドライブの際には内燃式エンジンによって走行に柔軟性を持たせます。」記念すべき車両の所有者であるフロリアン・メルクは、こう説明した。

セバスチャン・マッケンセンは次のように述べた「**BMW Welt** で 50 万台目の電気駆動車両のお引き渡しをお祝いできて、とても光栄に思います。ドイツで当社ほど多くの種類の電気駆動モデルを販売している会社はありません。現在、ドイツ国内の道路には、すでに約 **60,000** 台の電動化された **BMW** や **MINI** が走っています。そして **2020** 年には引き続き追加モデルを発売します。」

BMW グループは電気自動車に関するノウハウを豊富に保有

長年にわたる e モビリティの経験により、**BMW グループ**はこの分野での知識を豊富かつ十分に獲得している。これらはエンジン、パワー・エレクトロニクス、バッテリー、バッテリー・セルといった **eDrive** テクノロジーの社内開発のための基盤となる。これにより **BMW** と **MINI** の電気駆動モデルは、これからもブランド特有の走行特性を実現してゆく。

***燃費および排出ガス値：**

BMW 330e セダン：複合モード燃費：1.9～1.6 リッター/100km、複合モード電力消費：15.4～14.8kWh/100km、複合モード CO₂排出量：43～37g/km

MINI クーパーSE：複合モード燃費：0.0 リッター/100km、複合モード電力消費：16.8～14.8kWh/100km、複合モード CO₂排出量：0g/km

BMW iX3（暫定値）：複合モード燃費：0.0 リッター/100km、複合モード電力消費：20kWh未滿/100km、複合モード CO₂排出量：0g/km

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター
フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>